

篠尾から五大尊岳（南峰）へのルート確認

◇実施日 4月5日（土） 晴れ後曇り

◇参加者 湯川 一郎

数年前から篠尾から大小森（おこもり）集落跡を経て五大尊岳（南峰）へのルートを確認したいと思っていたが、なかなか出向く機会がなかった。今回、当初は持経宿に前泊し、前鬼までの点検・整備に参加する予定だったが、日曜日の天気予報が良くないことから中止となった。

午前中は天気も良いので下調べしてあった大小森への入り口へ車を止めて出発した。廃村巡りのYouTubeで大小森へ入る者もいるようだが、道は結構荒れている。

大小森を開拓した兵庫氏永・勝正・正信のお墓の前から山手への道に入った。この春に間伐したらしく、枝打ちされた檜の葉は青々としていた。囲いが崩れた石仏のある分岐で右の金剛多和への道に入り、緩やかな登り道を歩き、五大尊岳（南峰）への分岐で尾根に入る。ここからは約370m余りの直登となる。標高650m付近は岩場もあり急登が続く。尾根の合わさる箇所には赤と白のテープがあり、枝尾根を除くと赤テープが打たれていた。どうやら上地からの尾根ルートがあるようだ。その後、シャクナゲ帯を過ぎると、五大尊岳（南峰）へ、篠尾から約2時間10分で着いた。

復路では、少し先の山手よりの分岐まで下り大小森へ戻る。こん

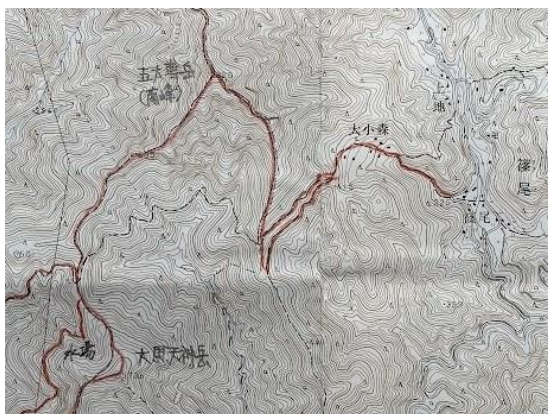
にやく芋が栽培されていたようだが、結構な広さで廃家も数軒残っていた。往路では集落手前で沢沿いのガレ場を歩いたが、集落跡からは地形図に記載のルートで下り、篠尾にはお昼前に着いた。

行動タイム

篠尾 07:24→07:53 大小森集落跡 07:53→08:06 分岐（石仏） 08:08→09:09 上地からの合流分岐 09:10→09:36 五大尊岳（南峰） 09:42→10:49 分岐（山手） 10:40→11:28 篠尾



大小森集落跡



五大尊岳（南峰）付近の地形図